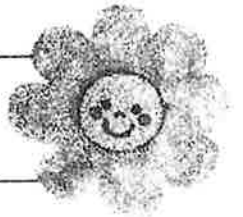
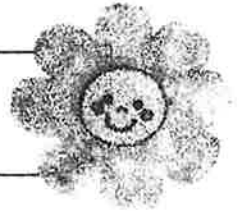


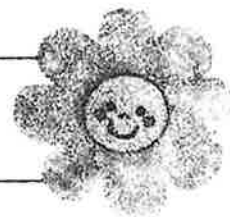
○ インタビューのしかた。新聞を作る
ときに5W1Hをかいていることなど
神戸新聞の工夫が分かりました。
実際にインタビューして
げんこうをかくなどできて良か
った。友達の大切さも分かり
ました。



新聞の取材、インタビューのしなやかさ、そして
ガベエ、インタビューもできて楽しかったです



○ 私はこの授業で普段は新聞をあまのり読まなけ
ど今回読んで見ようと思いました。あと、なんでもかん
でも聞きすぎなのもダメだし、段どりを決めすぎな
い事も大事だということが分かりました。あと、
インタビューをする相手のことも考えて、なんでもかん
でも聞きすぎて疲れさせないということも大切だとい
うことが分かりました。

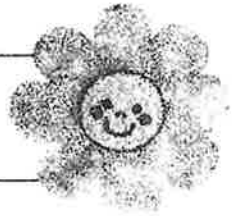


今日は記事についてたくさん学びました。

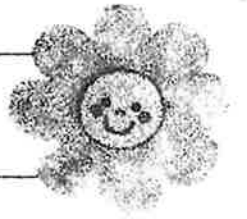
新聞記者さんは裏方であまり目立たない役割ですが、すごい人なんだなと感じました。

私の夢は演出家で共通点もあるのて
べにひびきました。

奥方さんの大変さを改めて知りました。



今日のインタビューで質問が3問くらいで済
みたけど、それ以上は考えるのに少し時間か
かかってしまった。インタビューされる人の答えに
よってすぐ質問を考えられるさしはすごいと
思った。新聞を読んてみたい。



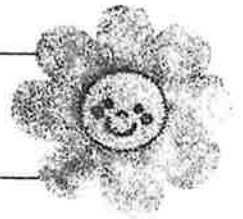
人にインタビューするときはSW/Hが大切だ"ということが
わかりました。私は毎日神戸新聞を言売っていますが、一つ
の記事を書くことにたくさんの時間と努力が使われ
ていることがわかりました。新聞記者は、とてもすば
らしいお仕事で、事故や事件の情報を発信して
一人でもなくなる人、けがをする人が減るようなことを
していて、そんなけいしました。私が毎日読んでいる新聞 
たくさんの人の努力があってできていることを常に分かって
おきたいです。

○今日の授業で「学んだことは、最初には友達のように
ところ、友達の応えんしたいところ」など「を書く

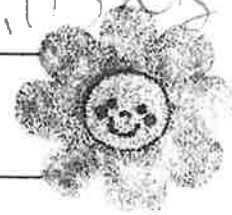
ということでした。そして、①②の川原番で聞いていくと
「スラスラ」とかけていくのでとてもびっくりしました。

文章を書くことがとても難しかったです。

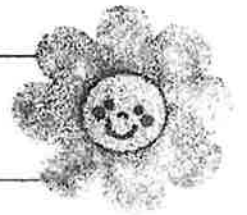
でも私にとって、とてもいい作文になったので
よかったなと思いました。



○ SW/H という「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」「なぜ」「どのように」
の紹介にかスタカだということが分かった。友達新聞は時間がなくて
あまりけなげなだけ、インタビューの時間の中でかわねさんややぎさんなど
のうたさんはあまりしゃべらない人ともしゃべれたしその人が好きな
ことなども知れていい時間でした。段どりはあまり決まらないほうが
いいといっていてなぜ決める数は少なく(3つくらい)ないといけな
いのか気になりました。でもいいきかいになって楽しかったし、いろんなこ
とをきけたので今日学校に来てよかったです。



新刊のついでに、何月かの日、新しい説明が
とても分かった、印象が、かみやすかった。

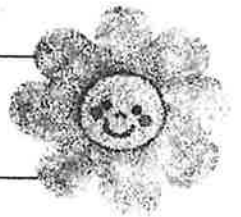


今日は、鄭栄に新聞を書いている方の話を聞きました。
今回の学習で学んだことは新聞だけでなく他の色
々な所に活かされると思います。例えば、人とコ
ミュニケーションを取る時などに活かされると思います。友
達とインタビューしあうことで友情が芽ばえ、さすなやか
に深まらると思います。今日の授業はとても有りました。

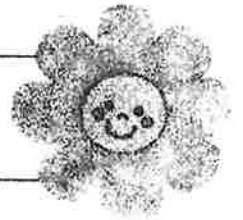


○ 素朴間のマリエでこんなにもしゃべって素朴間が出版しているんだと
僕は初めて知りました。

ほかにもインタビューのしかたもこんなふうにするんだと僕は初めて
知りました。

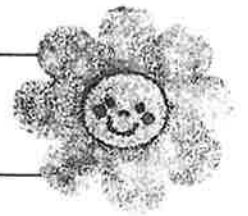


○ 今日、授業を通して私は、仁タビューとは正直に
具体的に必要なことを聞くのが大切だという
ことが分かりました。

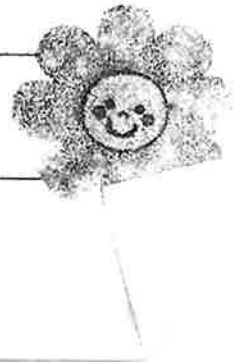


○ インタビューする時のポイントや、インタビュー術のこと、インタビューの
じやしんのとり方について、学びました。新聞については何も
分からなくて、あまり興味がなかったけど、今日の話を
聞いて、インタビューはどういうふうに行っているか、インタビュ
ーの時の写真のとり方であたりを教わったので、新聞を
読んでみようかなと思いました。

すごくいい馬気全になりました。



○ 自分たちがよくみている新聞、その作らう、
きかや 時間 インタビュースをするだけで 7
時間がかかるしその上 聞いたものを書か
なきゃいけない、毎日とどいている新聞
には二人がくろうがっまっていると思えば
新聞をちがう してん からよんでみた
くなりました。



○ 私は今日、取ざいの「SWIH」と知って、こんなことを、心かけながら

取ざいをしているんだと初めて知りました。私や友達新聞を書く時は、このことを

意識しました。平井さんインタビューして、私としゅみが一語だったのが、仲よくなれそ

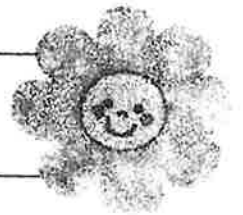
うでした。インタビューは人と人をつなげる力があるんだと、改めて知りました。

また写真も 角度によって、受け止め方がちがうと分かりました。

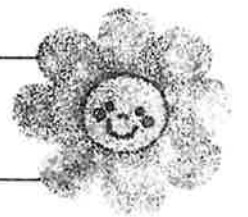
私は新聞をあまり読んでいません。なのでおはあちゃんの家から、新聞を

もらって、読んでみようと思いました。新聞はニュースだけでなく

く、人とのつながりをつくるものでもあると思いました。



○ ともたちのおまじないもかく
ともたちのおまじないの筋をみかたあす
いつもはさし、たいてい 3P。SWITH



新聞のできやインタビューのしかたが分かった。

いろいろなことをして新聞がでることを分かった。

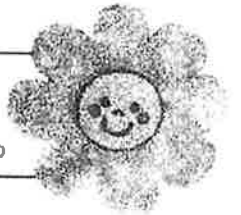
新聞を作るにはいろいろな構ていと重ねてうんで
やっと完成させることができるということを学んだ。

自分で新聞をつくったとき、あまり上手にできなくて、

プロの人には写真や字数を調整して上手につくっている

ことが又ためてとてもすこしいなと実感できた。

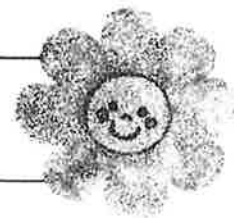
自分も上手新聞をつくれるようになってみたいと思った。



○ 今日、取材などのやり方を知ったのもありますが、日曜日の新聞にも様々な思いや作方があるのを知りました。実際にやってみて、お目玉のことを考えて質問したり、意外と

言語是をそらさないということが少し難しかったので、最近ではほとんどニュースなどしか見せていたが、色々な工夫がされていることを知ったので、機会があれば、読んでみたいと思いました。

正確かに、思い返せば今まで見てきたニュースも新聞も聞き手に伝わりやすいように、無馬大な内容なく作られています。



今日、三好先生のお話を聞き、ニュースの基本の5W1Hのことや、まず、新聞を

私はとらえていたなか、たいていその新聞の良さについて教えてもらいました。

他にも、友達へインタビューしたり、インタビューで写真をとる時のとり方について

教えてもらいました。中でも、「方向を変える(カメラの位置など)をかえると、相手

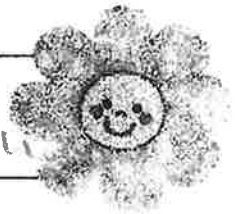
のその人への感じ方がかわるなどでは、なるほど、たしかにな、と共感でま

した。他にも、下調べして、インタビューの前に許可をとっておくこと、

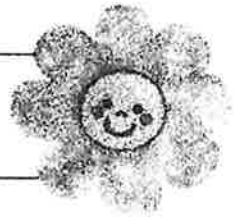
相手のリズムに合わせて、質問の数を多くしない、ということも

一番な、得しました。これから先、新聞などをかくな、このことを忘れない

ようにしておきたいです。



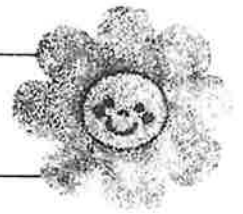
○ イタビューはしみと特報をっもんすると
良いことかもしれない。新聞を作ることはたいへんが
けい色々人、有名人とかに会えるのが
すごくいいと思います。意外とイタビューが
難しくて質問とかもわまいお悪いかなってお
どろいた。やっぱり新聞を作るのは難しい
んだと思いますそれでも作ってくれる人に感謝。



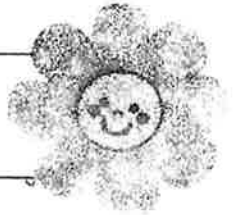
○ 今回学んだことは、新聞などでインタビューをどうするかということだ。

感じたことは、新聞は1枚を作るだけでも、たくさんの人が、工夫が
あって、ものすごい1枚の記事がでるんだなと思いました。

そして、かいてみて、すごく難しかったから、記者の人は毎日のように、くさ
りの文をまとめているとおもうから、すごいと思いました。



○ 今日僕は、5時間目と6時間目の総合で新聞のインタビューのことをまなひました。インタビュー終了を教えてもらいました。具体的な正確さとディテールな豊さが必要だと知りました。このことをまなんで塚本けいさんのことをインタビューしたら、自分が知らなかったことを知りました。インタビューのやり方も教えてもらってやり方もわかりました。記者の楽しみもわかりました。色々な事をまなべてよかったです。

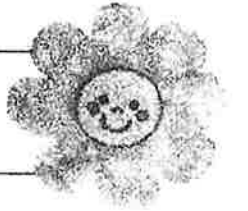


今日の授業で「学んた」にはらWIHです。

らWは when(いつ)、where(どこで)、who(だれが)、
What(なにが)、なぜです。IHは how(どのように)で
す。これらをキーワードとしてインタビューをします。

まとめるときには、まかく、いらないと思ったものは
拾って分類ができるようにする。ということをや
まいました。写真を撮るときは、動きをつけるように

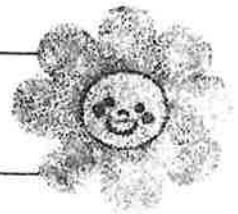
下からか、上からでもぜんぜんふいんぎもちがいます。



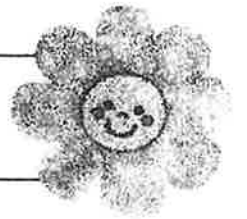
「友だちのよいところを多く、友達を褒める。自分を見つめ直す」というような記事をかき、なぜ、そうして
か「大切だ」ということを学んだ。

取材をするときは、変化や比較を聞き、一方的
に話すのはよくないということをしりました。

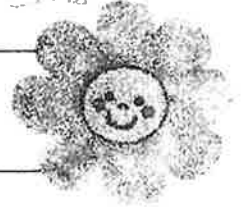
このようにくろうに新聞をつくらっているのかと思い
感動しました。



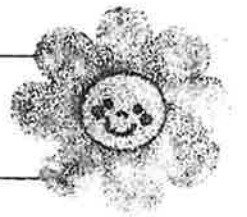
- インタビューするのにな大切なインタビュー術や 写真の良
い撮り方を学びました。「5W1H」いつ、when、どこで
where、だれが、who、なにを What、なぜ、why、どのように How、が大切
だと知りました。神戸新聞の記者の方の考え方や思いも学びました
普段生活の中で記者のお仕事をされている方のお話を
きくきかいがなかったなので初めての経験で新鮮でもあって
楽しかったです。



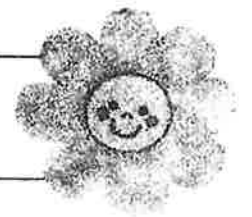
まず、ニュースの基本として SW/H があることと、SW/H の意味が
分かりました。インタビューをする時は「下調べ」としてリサーチの
色々な行為がしっかりとあることと分かりました。インタビュー
時のインタビューを受けている人の写真は、動きがある写真が
良い。分かりました。(インタビューしている人を見てしゃべっているように感じ)
文を書く時 構成などと考えたり 細い部分まで気になった方が
いい。分かりました。最後に、「人間を書く、そういうのが 日記書
く中で、随分興味」といつかとも思いました。



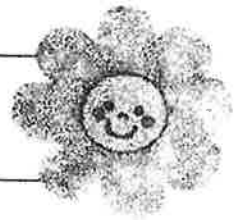
インキローは、相手のきもちとかを考へたり、相手のリ
ズムにあわせて、いつもをしていること



今日は川島さんも言っていた通り新聞をおまじよまないので
今日、新聞の魅力や製造方法などを聞いて興味
が湧きました。これから何事にも細かい所や他の人
が好きな所を真似するかと、新しい事を始める
時には今日の事を思い出してみても取り組んでいきたいと
思いました。



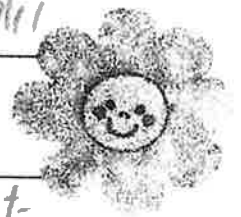
1. 何を、どうして書くのか。読者の心を動かす、いくつかの話を、面白く、書く。そして、
その面白さを、読者に伝える。新聞、雑誌、インターネット、テレビ、ラジオ、など、新しい
メディア、など、いろいろと学ぶ。そして、書く。少し難しい。



私は全然新聞を読んだことがなかったけど、この授業を通して、仁徳ユーのしかたや新聞記者のやりがい

などが知れた。友達新聞では、確かによくわかってよかった。5月11日、基本のことがよく分かった。

仁徳ユーも果外はすかいと思ふ。三好さんが仁徳ユーに人のなかにマサ・テシサカいてとてあどろいた。



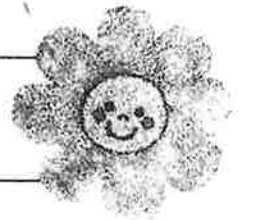
5W1Hは、ニュースの基本だと分かった。

下調べをしたり、具体的に書く、比較して書くなどが、
大切と学んだ。写真をとるときは、動きのある写真、関連の
ある写真をとった方がいいと分かった。原稿を書く
時は、濃く、ていねいにかくと知れた。

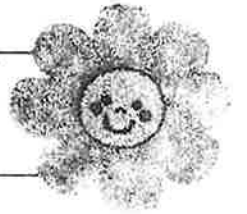
いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、とどのよう
に、この6つの事を書いて、質問するときは、

2問～5問くらいで、必ず質問することだ

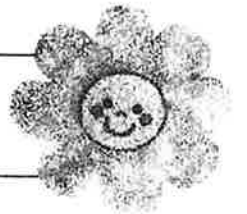
けする！



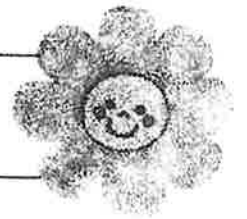
さん	この授業を通
特技 1つ = オープン	して、新聞のことに
楽しく / スライド	ついて学びました。
かえる 校歌	記者の人がこの
2時間でも語りきめたい程の工夫をし	
てくれているんだなと感じました。	
友達新聞で友達のいいところを書けました。	



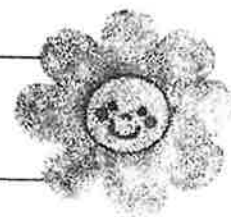
今日の授業で学んだことは、まずは新聞の書き方です。「5W1H」という新しい言葉を知ることができました。今習っている英語と同一ような内容で、印象に残りました。そして、友達にもインタビューができてとても良かったです!! インタビューの聞き方や、大切なこと、順序をたくさん教えてもらって、光栄でした。



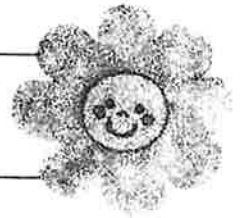
○ 友利はいいことを書く友達も応答する。目的を見つめ直して
記事を書く。質問は3回くらいでいいと言うことが分
た。取材は変化がじかきも聞く。新聞を作る
のはいも手間があてし人じに思った。このとき
を大切にこれからは新聞を読んでもみようと思った。



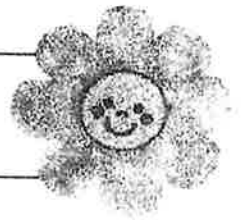
今日、三姉さんの話を聞いて、インタビュー
のしかたが、上手な写真のとり方をお
しえてもらって、うれしかったです。友達に
インタビューするときは、今日 おしえてもら
たことをつかあうと思いました。



今日の授業で、夢人だ'2とは、色々のイメビューの聞き方があ'る人
だ'な'っ'と思'い'ました。友達とイ'ン'タ'ビ'ュ'ー'を'し'て'あ'が'た'め'で
イ'メ'ビ'ュ'ー'の'お'り'き'を'分'か'り'ま'し'た。友達とイ'ン'タ'ビ'ュ'ー'に'前'で
言'った'お'ま'け'を'あ'い'ま'し'た。17と'、'あ'ま'の'イ'メ'ビ'ュ'ー'し'た'こ'と'を'あ'い'ま'し'た
と'よ'か'た'で'す。今日'は'精'道'中'学'に'来'て'く'だ'さ'り'あ'り'が'た'い'と'
い'ま'し'た。



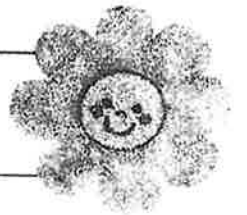
○ 新聞記者はいろんな大変な仕事があるんだなと思いました。インタビューの仕方もいろんなものがあるということが分かりました。写真の撮り方もたくさん工夫や構図もあるということも学びました。今回学んだことを生かしてインタビューするときは意識していきたいです。



○ インタビューが素晴らしいと思いました。

文章を作るのが素晴らしいかったです。

中西先生の矢口さな(部分)が矢口れて良かったです。



○ 新聞をつくるのには、その人の気持ちによりそう事が大切だと思ひました。

例えは、遺族の方にちにインタビューするとき。ワクワク気分よりも

少し悲しめな気分インタビューする方が、相手も気が楽になると思ひます。

抑、インタビューする内容です。見る人が興味ある内容であれば、探る

インタビューしても、ただ、探るききすぎても、答える側が困ってしまう

かもしれません。この事を考えると、新聞社で働いている人は、

色々な事を考えてインタビューをしている人です。すこーいなど

思ひました。

